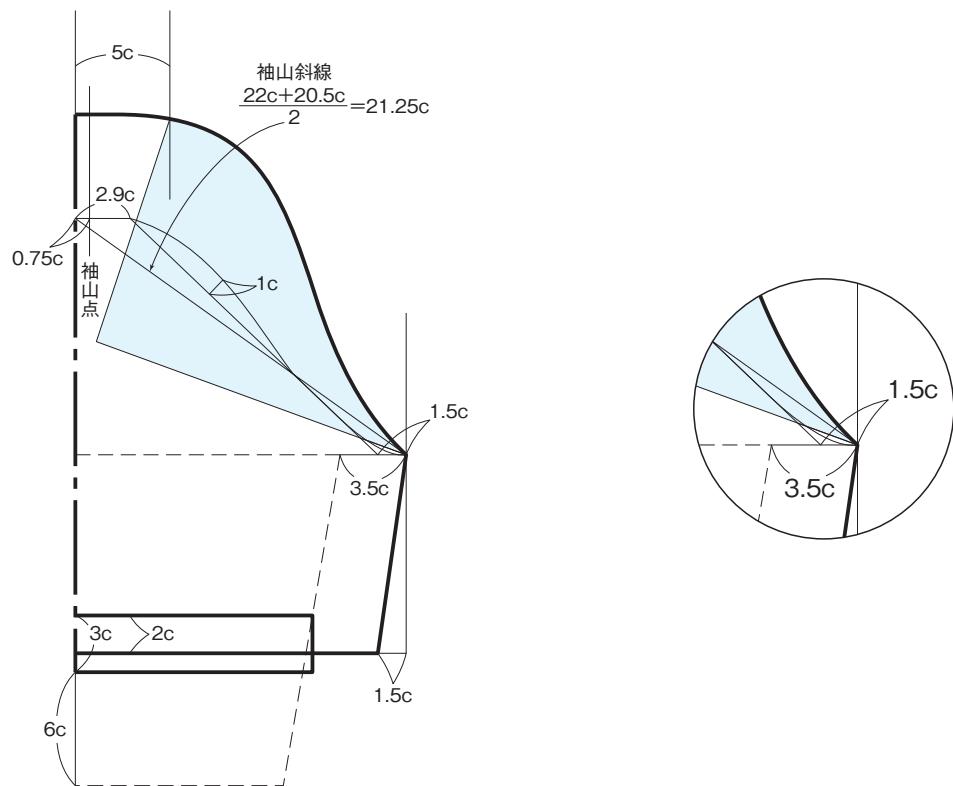


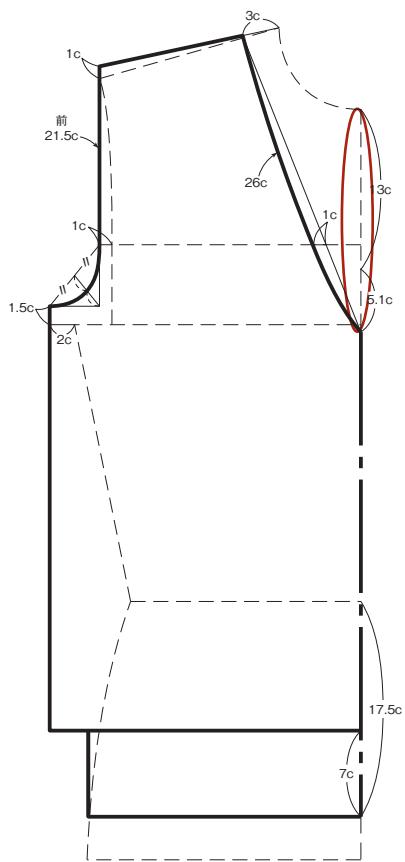
「棒針編み指導員認定コース」
NV70224修正箇所（3刷めで修正）

2015年9月

■p5 袖山の案内線の交点から下のカーブ線が欠けていたので以下のように訂正しました。



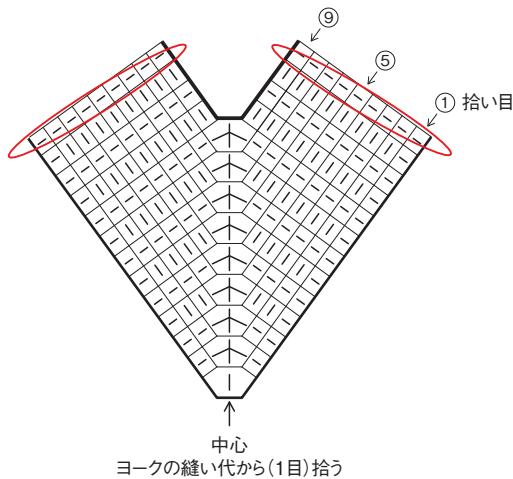
■p13 前身頃の原型線を中心線から点線に訂正しました。



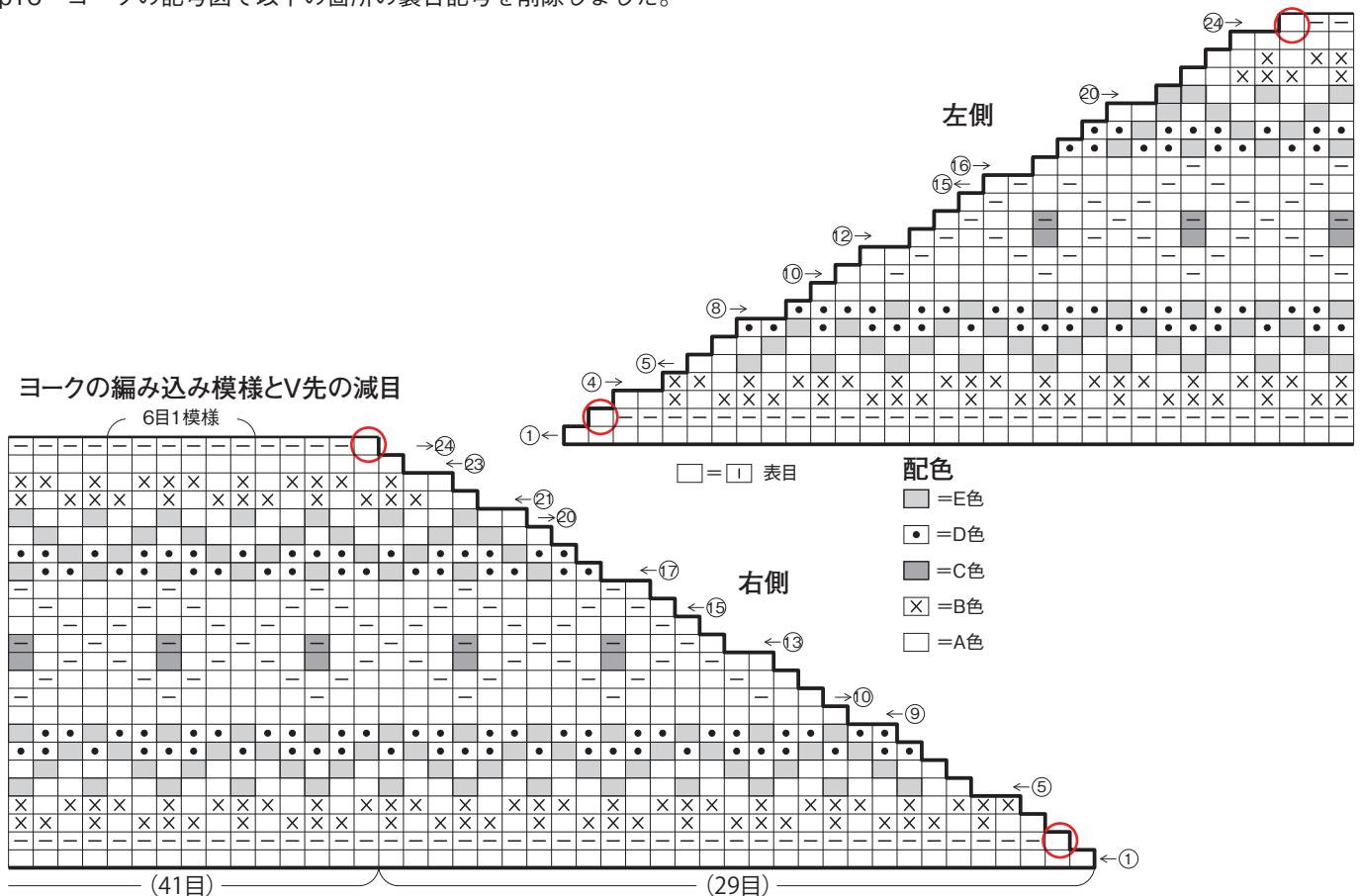
「棒針編み指導員認定コース」
NV70224修正箇所（3刷めで修正）

■p16 「V衿先の編み方」の記号図に表目記号を追加しました。

V衿先の編み方



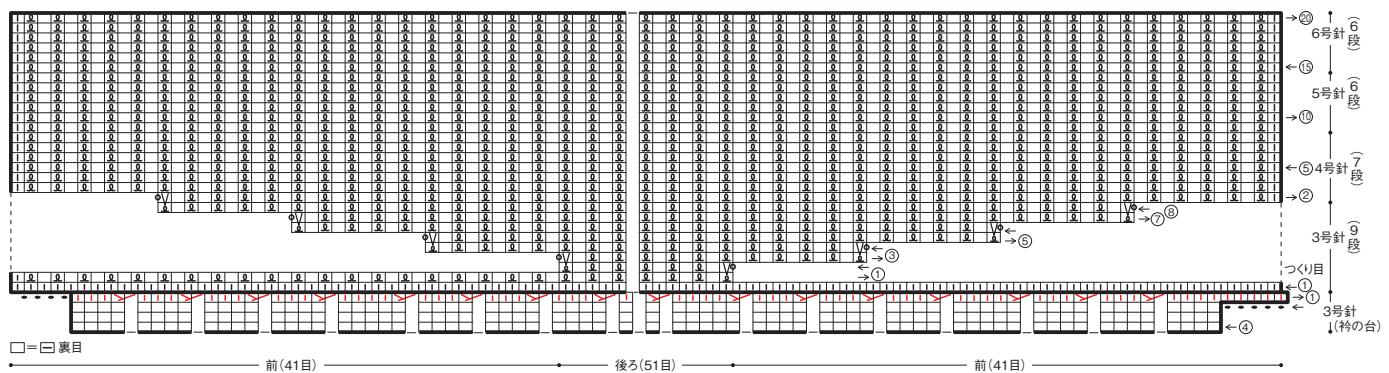
■p16 ヨークの記号図で以下の箇所の裏目記号を削除しました。



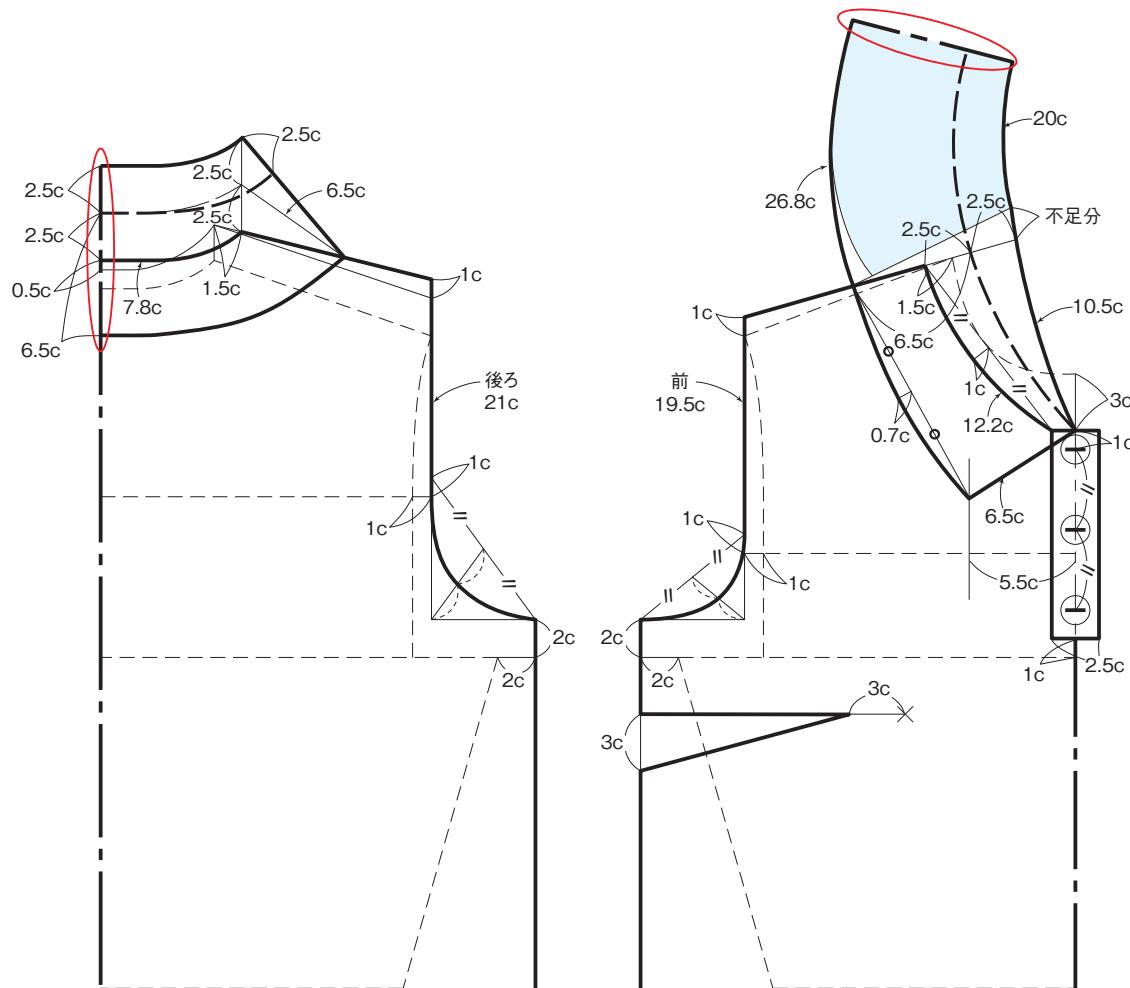
「棒針編み指導員認定コース」 NV70224修正箇所（3刷めで修正）

■p22 衿の台の裏メリヤス編みの1段めを表目記号に訂正しました。

衿の編み方



■p24 衿の太線を中心線に訂正しました。

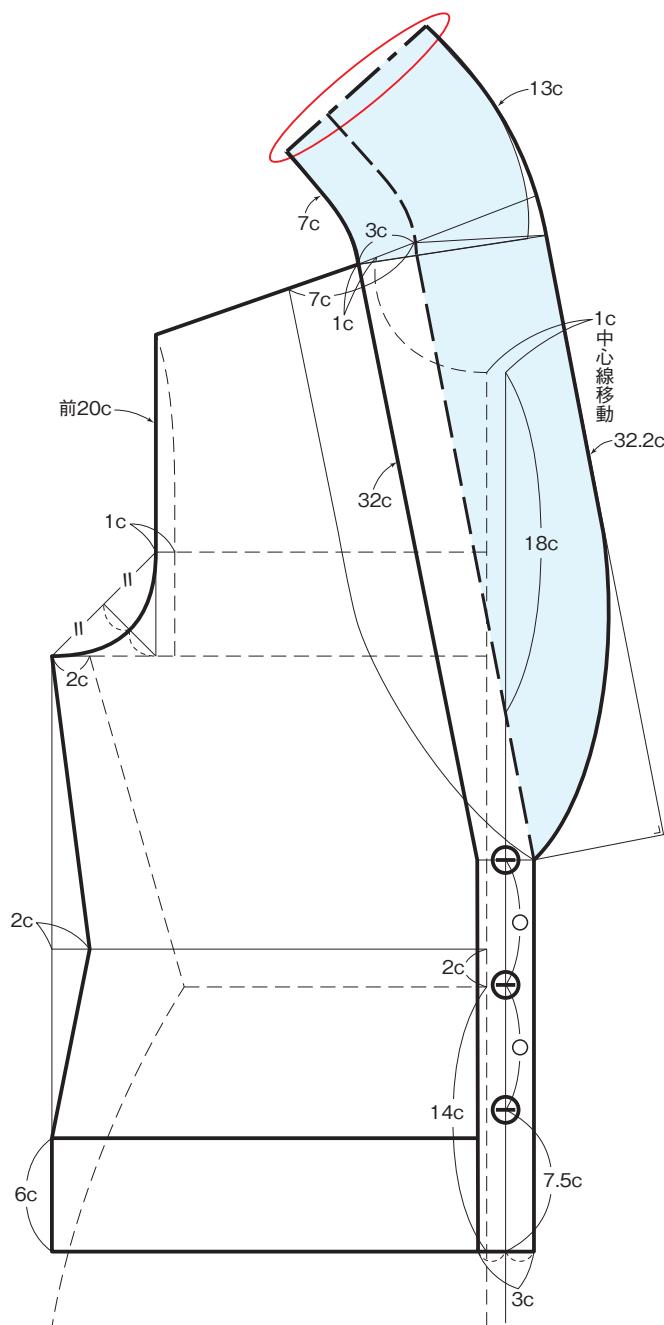


「棒針編み指導員認定コース」
NV70224修正箇所（3刷めで修正）

■p25 「ショールカラーの分散増減目」の5の文章を下記のように訂正しました。

5.衿目数を計算する。1模様14目が5.8cm、10cmで24目。

■p28 衿の太線を中心線に訂正しました。



「棒針編み指導員認定コース」
NV70224修正箇所 (3刷めで修正)

■p31 「2.ゲージ調整の計算」 1,2の文章内の数字を下記のように訂正しました。

1.衿つけ側と衿外回りの寸法差を出し、基準となる衿つけ側の何%になるか、増し目率を出す。

衿つけ側…後ろ7cm + 前32cm = 39cm

衿外回り…後ろ13cm + 前32.2cm = 45.2cm

$$(45.2\text{cm} - 39\text{cm}) \div 39\text{cm} \times 100 \approx 15.9\%$$

2.増し目率15.9%をゲージ調整で編むとすると、針を何号替えたらいいか計算する。

棒針1号のゲージ調整分は5.5%とする。

$$15.9\% \div 5.5\% \approx 2.89 \rightarrow 3\text{号差}$$

■p31 衿のゲージ調整の図のボタンホールの位置を正しい位置に訂正しました。

正：

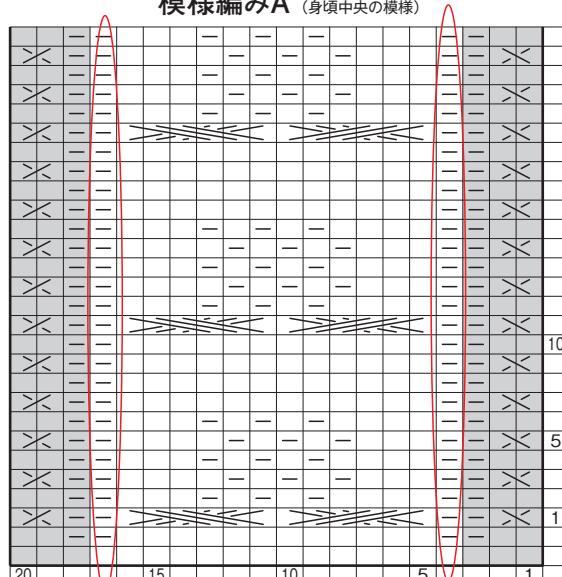
衿のゲージ調整



■p35 模様編みAの記号図の配色を訂正しました。

正：

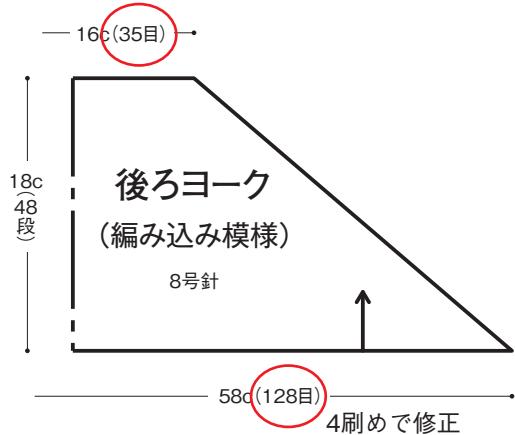
模様編みA (身頃中央の模様)



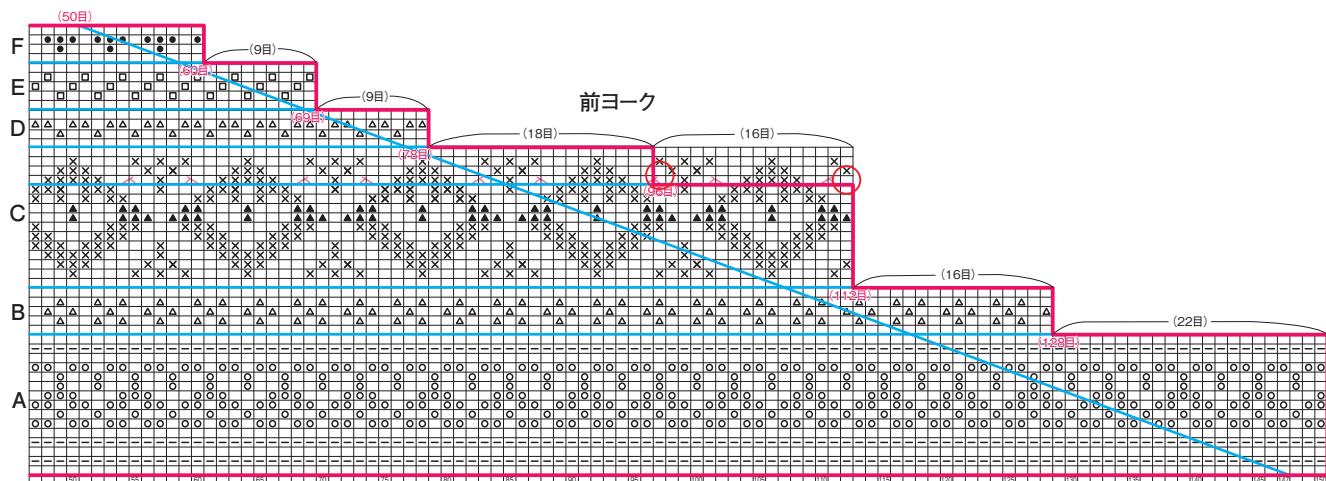
□ = □ 表目

「棒針編み指導員認定コース」
NV70224修正箇所（3刷め、一部4刷めで修正）

■p41 製図の書き方 9.後ろヨーク3行め、楕円のコンパス中心点 → コンパス中心点と訂正しました。（4刷めで修正）
 また、後ろヨークの図の目数を以下のように訂正しました。



■p43 前ヨークの編み込み模様記号図の二カ所に誤りがありましたので、以下のように訂正しました。



■p51 写真の手首回りの範囲を訂正しました。

